いずみさの

市議会だより

No.202
2026.11.1



New Topics

第8回みらい泉佐野こども議会を開催しました。

令和7年度決算を認定しました。

目　次

- 議会活動報告……2〜3
- 9月定例会の結果報告……3〜6
- 一般質問、豆知識……7〜11
- ご案内……12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。泉佐野市議会　検索

議会活動報告

第8回みらい泉佐野こども議会　8月2日

8月2日（日）に8回目となる「みらい泉佐野こども議会」を開催しました。チラシやポスターで公募し、8組9名のこども議員さんに参加していただき、皆さんの意見に対して担当議員が答弁をしました。

こども議員さんからは、「津波避難タワーの増設について」、「夏暑い中、歩いて登下校するのはなぜですか」、「不登校の子どもに授業をしてくれないのはなぜなの」、「僕の学校の破れたサッカーゴールのネットを直してください」、「泉佐野市における動物園の設置の可能性について」、「市民のためのさのぽについて」、「水泳の時間を増やして欲しい」、「教育環境整備の1つとして、小学校の算数の授業をレベル別にできないですか」との意見があり、素晴らしい意見交換の場となりました。

こども議員の皆さんからいただいた意見・要望については、泉佐野市とも共有し、より良い泉佐野市を目指してまいります。

また、こども達の声が、泉佐野市の未来を創るような機会にしていきたいと思います。





関空りんくうまちづくり特別委員会　視察　9月15日

関西エアポート株式会社様と、関西国際空港の現況と関西エアポートグループの今後の取り組みについて、意見交換会を実施しました。

関西国際空港の国際線旅客の特性として、韓国をはじめとしたアジア圏からの旅客者が多いとのことでした。また、関西国際空港の国際線貨物取扱量は例年と変わらないものの、昨年の日本全国の輸入許可件数が2億 2,680 万件となっており、そのうち大阪税関だけで 9,800 万件となっているとのことで、一時保管場所、人手が足りないとのことでした。

また、関西エアポートグループでは、「国際貨物地区改修プロジェクト～ Cargo Next→次の30 年を動かす。～」を掲げ、貨物施設の拡張・改修やデジタル化の推進・施設の効率的配置などの各取り組みを推進されていました。

関西エアポート株式会社の方々との意見交換会を行った後に、本年6月2日にオープンしましたターミナル1国際線エリアや万博レガシープロジェクトを視察させていただきました。





議員研修

7月22日

大阪府南部市議会議長会 議員研修会

令和8年度大阪府南部市議会議長会議員研修会が開催されました。

元寝屋川市議会議長で、長崎総合科学大学客員教授の宮本　正一 氏に「これからの地方議員に必要なこと」というテーマでご講義していただきました。



9月1日

市議会議員研修会

株式会社 EdFusion 代表取締役 近藤　にこる 氏を講師にお招きし、「AI時代の教育を創る!!」というテーマで議員研修会を開催しました。

AI・起業・地域共創を掛け合わせ、子どもたちの「やってみたい」を社会につながる挑戦へと変える教育プログラムなどについてお話しいただきました。



9月定例会を開催

総務産業委員会

可決 全会一致

令和8年9月定例市議会総務産業委員会に付託されました案件の主な内容について報告いたします。

泉佐野市民泊の適正な推進及び良好な居住環境の維持に関する条例制定についてをはじめ、中央小学校給食調理室に関わる2件の工事請負締結、泉佐野市職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について、泉佐野市田尻町清掃施設組合規約の変更について田尻町及び熊取町と協議することについてなどを含む計8件について議論されて、全員異議なく承認されました。



また、一般会計補正予算では当委員会に付託されました事項について慎重審議を重ねたのち、全員異議なく承認されました。

厚生文教委員会

可決 全会一致

令和8年9月定例市議会厚生文教常任委員会に付託されました案件についてご報告いたします。三つの議案が上程され審議されました。特に質疑応答が集中したのは議案第74号。一般会計補正予算でした。“赤ちゃんいのちのバトン”に関する乳児院整備事業や塾代等助成金、日根野小学校整備事業等。すべての案件が全員異議なく賛成承認されました。







決算特別委員会

可決 全会一致

認定 第1～9号

令和7年度泉佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和7年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について
令和7年度泉佐野市下水道事業会計決算の認定について

令和７年度は、物価および賃金の更なる上昇がみられるなか、市税収入が回復傾向となっており、令和７年度から新たに策定された中期財政運営方針に基づく事務事業の見直し等を踏まえ、国の物価高騰対策に関連する財政支援の活用、遊休土地の売却、ふるさと納税の推進、空港連絡橋利用税の徴収、ネーミングライツなど、当年度においても多角的な取組が行われました。

また、債権管理における重点債権縮減施策「アタック30」により、全庁的な未収金縮減の努力がされた結果、一般会計及び特別会計を合わせた総決算額は、歳入132,537,989,329円、歳出131,822,672,169円で歳入歳出差引額715,317,160円となり、翌年度へ繰り越すべき財源は267,807,000円で、実質収支は447,510,160円の黒字となり、単年度収支においても、98,446円の黒字が確保されました。詳しくは、下記の決算総括表をご覧ください。

（単位：円）

区　分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	単年度収支額
一般会計		106,175,593,467	105,670,393,912	505,199,555	267,807,000	237,392,555	△ 93,220,870
特別会計	国民健康保険事業	10,276,795,590	10,261,201,393	15,594,197	0	15,594,197	676,780
	公共用地先行取得事業	488,659,618	488,659,618	0	0	0	0
	介護保険事業	10,588,556,489	10,412,417,903	176,138,586	0	176,138,586	79,332,437
	後期高齢者医療事業	1,726,202,161	1,707,817,339	18,384,822	0	18,384,822	13,310,099
	病院事業債管理	3,036,709,982	3,036,709,982	0	0	0	0
	りんくう公園事業	245,472,022	245,472,022	0	0	0	0
合　計		132,537,989,329	131,822,672,169	715,317,160	267,807,000	447,510,160	98,446

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案　件
議案第65号	泉佐野市民泊の適正な推進及び良好な居住環境の維持に関する条例制定について
議案第66号	工事請負契約締結について 中央小学校給食調理場整備工事について、工事請負契約を締結するものです。
議案第67号	工事請負契約締結について 中央小学校給食調理場整備機械設備工事について、工事請負契約を締結するものです。
議案第68号	泉佐野市職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第69号	泉佐野市田尻町清掃施設組合規約の変更について田尻町及び熊取町と協議することについて 泉佐野市田尻町清掃施設組合規約を変更することについて、田尻町及び熊取町と協議するものです。
議案第70号	泉佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第71号	令和7年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和7年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金308,527,924円のうち16,465,843円を建設改良積立金に積み立て、292,062,081円を資本金に組み入れるものです。

議案第72号	令和7年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和7年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金691,095,608円のうち423,105,188円を建設改良積立金に積み立て、267,990,420円を資本金に組み入れるものです。
議案第73号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更について関係市町村と協議することについて 大阪府後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、関係市町村と協議するものです。
議案第74号	令和8年度泉佐野市一般会計補正予算（第5号） 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,175,226千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ89,113,858千円とするものです。
議案第75号	令和8年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ183,260千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11,008,096千円とするものです。
認定第1号	令和7年度泉佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和7年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和7年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号	令和7年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号	令和7年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号	令和7年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第8号	令和7年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について
認定第9号	令和7年度泉佐野市下水道事業会計決算の認定について
報告第9号	泉佐野市土地開発公社の経営状況報告について
議員発議第7号	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書の提出について
議員発議第8号	化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書の提出について
議員発議第9号	泉佐野市上瓦屋「山出交差点」の道路拡張および交差点改良を求める意見書の提出について
議員発議第10号	泉佐野市内における府管理河川の浚渫等による治水対策の強化を求める意見書の提出について

一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」、または「会議録検索」（11月末日配信予定）をご覧ください。

議会中継のQRコード▶

公明党
泉佐野市会議員団　代表
岡田　昌司　議員



・線状降水帯による浸水被害から市民を守る対策について
・地域ポイント「さのぽ」のコンビニエンスストアでの利用拡大について
・夏休み期間中の子どもの酷暑対策及び食支援について
・商品中古車に対する軽自動車税種別割の課税免除制度の明確化について
・「ミラダシ」を活用した食の観光産業化構想について

線状降水帯による浸水被害から市民を守る対策について

Q 雨水を一時的に「貯める」「浸透させる」という対策を組み合わせる必要があると考える。市民参加型の浸水対策として、家庭用雨水貯留タンクの設置に対する助成制度を創設してはどうか。

A 本市では、河川管理者である大阪府と連携を図り水防災連絡協議会で協議を重ねながら、ハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせた治水対策を推進しており、現地で雨水を「貯める」、「浸透させる」流出抑制対策についても体系的に取り組んでいます。家庭用雨水貯水タンクの設置に対する助成制度については、家庭用雨水貯水タンクは雨水の流出抑制効果については限定的と考えており、その他の様々な流出抑制対策の取組みについて、その効果や他の自治体の取組みなどを研究してまいります。



夏休み期間中の子どもの酷暑対策及び食支援について

Q クーリングシェルターを「子ども夏休み涼み処」として活用できないか。自校方式の学校給食調理場を「食支援」に活用できないか。施設に来ることが難しい子どもには「宅食・フードパントリー」などで届けることができないか。

A 酷暑対策として、クーリングシェルターは、身近な避難拠点となり得るものですが、恒常的に機能させるためには開放要件等の整理が必要です。また、学校給食調理場を食支援に繋げるためには、メンテナンス等の維持管理上の課題等があります。本市では、来所できない子どもへの支援として給食カフェテリアコックベアーを開催する等一歩外へ踏み出すきっかけづくりをしていますが、今後は、福祉部局等との連携をさらに深め、食を通じたアウトリーチ型支援の可能性や他自治体の先行事例の研究を進め、適切な支援に繋げられるよう努めてまいります。

商品中古車に対する軽自動車税種別割の課税免除制度の明確化について

Q 堺市では、ナンバープレートの交付を受けている商品中古車についても、一定の要件を満たせば課税免除の対象としているが、本市でも課税免除の取扱基準を整備する考えはないか。

A 本市において制度を導入するにあたっては、商品中古車が販売を目的として保有されるという事業上の特殊性を踏まえつつ、税負担の公平性や公益性を確保する必要があります。また、中古車販売事業者の事業活動を支援する政策目的は、税の軽減による支援ではなく、補助金交付による直接的な支援という方法もあります。これらを総合的に勘案しますと、車両番号の指定を受けた商品中古車に新たに課税免除制度を設ける必要性や合理性はないものと考えておりますが、今後、公益性や公正公平な制度として導入ができるか検討していく必要があると考えます。

新緑未来　代表

佐野　剛　議員



・防災について（防災気象情報について）

防災について（防災気象情報について）

Q 本年5月より新たな防災気象情報の運用が開始されましたが、最も分かりやすい変更点は何でしょうか。

A 令和8年5月29日から、気象庁における情報体系として新たな防災気象情報の運用が開始され、河川氾濫、大雨、土砂災害等に関する防災気象情報について、住民がとるべき避難行動との関係をより分かりやすくするため、警戒レベルとの対応が整理され、情報名称にも警戒レベルの数字が付される等、大きく体系が見直されました。本市では、運用が始まる前後で、広報いずみさのに記事を掲載する等、市民への情報提供に努めています。

Q 市が発信する避難情報は、確実に市民へ届いているのでしょうか。

A 本市では、防災行政無線や緊急速報メール、ホームページ、おおさか防災ネット、Lアラートを通じた放送事業者への情報提供のほか、LINEやXなどのSNS、大阪防災アプリやヤフー防災速報アプリ、必要に応じて公用車による広報、消防団車両を活用する等、情報伝達手段の多様化を進めています。また、高齢者や障害者等に対しては、自主防災組織等が直接的に声掛けを行うといった特性に応じた情報伝達手段も整えており、今後も適切な情報発信に努めるとともに、平常時から情報入手手段を把握していただくための啓発にも注力してまいります。



チーム泉佐野創生　代表

野口　新一　議員



・災害時における協力協定について
・地域活動の担い手不足について

災害時における協力協定について

Q 災害避難者への炊き出し支援を行っていただける市内の飲食店やこども食堂などの事業者へ、炊き出し支援の協力を依頼し、避難所等での炊き出しの連携協定の必要性についてお尋ねします。

A 本市といたしましては、行政による備蓄や既存の物資供給協定だけに頼るのではなく、地域の飲食店やこども食堂など、日頃から地域の食を支えている皆様の力、そして本市が保有する給食調理室などの資源も有効に組み合わせながら、「災害時にも温かく、栄養にも配慮した食事を、必要とする方に確実に届けられる体制」の構築に向けて、検討を進めてまいります。



地域活動の担い手不足について

Q 少子高齢化や価値観の多様化等の影響によって、地域を担う若者や壮年のリーダー不足は未だに解消できていない地域が多くあります。行政として下支えするために配置された「地域共生コーディネーター」についてその役割と現在の進捗状況をお尋ねします。

A 市職員としての長年の経験や専門的な知見、さらには行政組織の仕組みに通じたノウハウをフルに活かし、役員のなり手不足に悩む現場に入り込み、会議の運営や関係団体との複雑な調整といった実務的な負担をダイレクトに軽減し、疲弊している町会等の活動そのものを活性化させるため、今年度より新たに5名の「地域共生コーディネーター」を配置しました。当面の活動方針としまして、地域行事への参加や運営支援を通じて信頼関係を築き、迅速な初期対応から課題の整理へと繋げてまいります。



野口　新一　議員のつづき

・熱中症対策について

「熱中症対策」について

Q「65歳以上」のみを対象に「エアコン設置費助成」も行っていただいていますが、「熱中症から命を守る」という制度目的から、支援対象を年齢だけで区切るのではなく、暑さへの対応が難しい方、体調管理に配慮が必要とする方への助成対象の拡充を求めます。

A 熱中症リスクから生命を守るためのエアコン設置支援は、加齢による生理的脆弱性により、室内でも生命の危険に直結しやすい高齢者世帯の「熱中症による重症化・死亡事故の防止」という緊急性の極めて高い課題を主眼に置いて設計されたものであるため、行政上の事業目的や財政的持続可能性の観点から、現時点では実施することが困難であると考えており、対象者を高齢者層に限定している現在の枠組みを維持させてまいりたいと考えいます。障害のある方への支援については、本市の実情に合わせた支援のあり方等について研究検討してまいります。

大阪維新の会　泉佐野市会議員団　代表　南　大地　議員



・民泊の適正運営と住環境の保全について
・大防災訓練を契機とした地域防災力の強化について
・犬鳴山地域における林道の安全対策と計画的整備について
・生活道路における歩行者等の安全確保について

民泊の適正運営と住環境の保全について

Q 民泊施設が増加する中、地域住民が安心して暮らせる住環境を守るためには、施設の適正な管理と、問題発生時に迅速に対応できる体制づくりが重要である。管理責任者や緊急連絡先などを施設の外から確認できるよう表示する仕組みや、既存の民泊施設も含めた定期的な届出・更新の仕組みを導入するなど、条例の実効性を確保していく考えはあるか。

A「泉佐野市民泊の適正な推進及び良好な居住環境の維持に関する条例」制定により、新たに許可等を受ける民泊事業者からの「民泊事業開始届」の提出を促します。旅館業法では大阪府から許可を受けること、国家戦略特別区域法では大阪府から認定を受けること、住宅宿泊事業法では大阪府に届出を行うことで民泊はそれぞれ事業を開始することが可能ですが、大阪府への申請とともに市へ「民泊の名称」「管理者」「日本国内での担当者」「電話等連絡先」などを届け出ることを勧奨いたします。本市内の民泊施設については、大阪府が許可等や指導監督を所管していますが、市が連絡先等を直接把握し、民泊事業者との関係づくりを積極的に行うことで、トラブル発生時に速やかに当該事業者と情報共有し、速やかな解消に向けた調整を進めることが可能となります。

生活道路における安全確保について

Q 生活道路における法定速度の見直しにより、一定の道路では最高速度が時速30キロとなる。住宅地や通学路など、歩行者や自転車が日常的に利用する道路の安全性を高めるためには、速度規制だけでなく、道路の状況に応じた安全対策を進めることが重要と考える。市として危険箇所をどのように把握し、警察や地域と連携しながら、今後どのような安全対策を進めていく考えか。

A 本市では、生活道路の危険箇所を早期に把握するため、職員による道路安全パトロールや市民からの通報などを受けて、直ちに現場確認を行い迅速な対応に努めています。また、通学路の安全確保は、教育委員会、警察、道路管理者などの関係機関と連携し、合同点検を実施しています。点検結果を踏まえて危険度の高い箇所から優先的に改善を進め、児童・生徒が安心して通学できる環境づくりにも努めています。警察が所管し道路管理者と連携して実施する「ゾーン30プラス」についても、生活道路における人優先の交通環境を整備するための有効な施策として捉えています。改正道路交通法施行令の施行に伴い、生活道路における歩行者や自転車利用者の安全向上が期待されますが、今後の地域環境の変化等により生活道路に新たな安全上の課題が生じた場合には、町会、学校、警察などの関係機関との連携のもと、地域の実情に応じた効果的で実施可能な対策を迅速に講じてまいります。



自由民主党
泉佐野市会議員団　代表

長辻　幸治　議員



・持続可能な財政運営とふるさと納税新展開について
・防災、減災対策について
・教育について
・医療関係について
・コミュニティーバスについて

持続可能な財政運営について

Q ふるさと納税について

A 単なる一過性の寄附獲得にとどまらない、中長期的な施策展開を着実に進めており、これまでのノウハウを最大限に活かし、安定的な税外収入を確実に確保してまいります。

Q 今後の財源見通しについて

A 安定した自主財源を確保していくためには、企業誘致や移住者への支援など人口や雇用を増やし、継続的に税収を生み出す財政基盤を構築していくことが重要です。

防災、減災対策について

Q 沿岸部・河川部・山間部対策について

A 本市地形が多様であり、地域特性に応じた防災対策が必要です。

Q 避難所の環境改善について

A 「避難できればよい」という考え方から一歩進め、災害関連死を防ぐための生活環境の確保に努めてまいります。

教育について

Q クラブ活動について

A 本市では、すべての部活動を一律に地域へ移すのではなく、一つひとつの部活動の実情に寄り添いながら、全クラブ69通りの進み方で、段階的かつ着実に改革を進めていきます。

Q 子ども園の待機児童解消について

A 保護者の「希望の園に入りたい」という思いに応えることは容易ではありませんが、必要な保育の受け皿を確保するように努めるとともに、保護者の皆様が十分に納得し、安心して託せる教育・保育環境の構築に向け、取り組んでまいります。



医療関係について

Q 救急告示病院間広域連携と受入について

A 大阪府の救急医療体制は、消防法に基づき、「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」として整理され、大阪府のホームページでも公開されています。

Q りんくう総合医療センターへの財政・人的支援について

A 人員体制はほぼ充足している状況であり、直接的な人的支援は実施しておりません。また、高度医療の確保・充実のため、運営費負担金により支援を行っています。

Q 泉佐野泉南医師会看護専門学校について

A 令和7年度の卒業生39名のうち、41％の16名が泉佐野市内の医療機関に就職する等、地域の医師会が運営する看護師養成学校の役割を十分に果たしていると考えております。

コミュニティーバスについて

Q 現状と対策について

A 既存ルートを大幅に変更するのではなく、新たに1ルートを増設し、交通空白地域の解消を図ります。

中庄谷　栄孝　議員

・松風台の下水道整備計画について
・学校における熱中症対策について



松風台の下水道整備計画について

Q 松風台の汚水処理施設が開設より42年経過し、耐用年数が近づいています。計画についてご教示ください。

A 今年度より松風台地区内の既設汚水排水管の老朽化調査に着手し、3年間で約3㎞の管きょ調査を行い、公共下水道への接続が可能か判定します。併せて、関係機関と市役所前ルートへの変更協議等を進め、令和12年度に松風台地区を下水道事業認可区域へ組入れるための法手続きを進めてまいります。

学校の熱中症対策について

Q 熱中症として夏休みの期間延長のお考えはありませんか。

A 本市においては、教育課程を各学校でゆとりをもって編成できるよう、授業時間を確保することは重要であると捉えており、現在の取組みを続けてまいりたいと考えています。



松村　正秀　議員

・教育について
・防災対策について



中学校部活動の地域展開について

Q 今後どのような基本方針のもとで移行を進めていくのか。

A 受け皿の整備状況を丁寧に確認するとともに、教員の希望にも配慮し、顧問負担の軽減を図ります。平日・休日の一体推進や安全対策、指導者研修、学校・地域・保護者の連携を進め、生徒・保護者が安心して活動できる環境を整えながら地域展開を進めます。



防災対策について

Q 受援体制の整備状況と災害時において確実に機能するのか。

A 令和9年度の受援計画の見直しを一つの契機として、訓練と検証を重ねながら、実際の災害時に確実に機能する、実効性のある受援体制の構築に努めてまいります。

射手矢　真之　議員

・児童発達支援センター（木馬園）について



児童発達支援センター（木馬園）について

Q 木馬園において、市内こども園と同様に、おむつの無料配布を実施していただけないか

A 本市としましては、保護者の負担軽減に向け、市内の保育施設と同様に市が調達した紙おむつ及びおしりふきを施設内の使用に限り、児童に無償提供してまいりたいと考えています。



Q 木馬園の駐車場の入れ替えでの利用や、末広公園駐車場と園の間にスタッフを配置するなど、通園のサポートをして頂きたい

A 常時、職員が誘導することは困難ですが、日によっては、児童の気持ちの状況により、スムーズに歩いてくれないこともあると思いますので、児童発達支援事業（木馬園）に相談いただければ、対応策を検討してまいります。

その他の一般質問

中村　慎作　議員

・佐野飛行場跡と熊野街道を活かした観光まちづくりについて
・大阪湾の水産資源回復について



※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。

豆知識　定例会と臨時会について



定例会とは、地方公共団体の議会が条例で定められた回数に従って毎年定期的に招集される会議です。地方議会の定例会の開催月は各議会の条例により異なり、泉佐野市の定例会はおおむね3月・6月・9月・12月の年4回開かれます。議案の審議や質問、予算の編成などが行われます。また、臨時会は必要に応じて開かれ、5月には議会役職の選挙選任のために臨時会が開かれます。

令和8年9月定例会より、議会傍聴（本会議）にお越しになった方で、以下の条件を満たされた方に地域ポイント「さのぽ」を200ポイント付与する事業を試験的に開始しています。

1. 泉佐野市議会傍聴規則を遵守し、本会議を30分以上傍聴された方
2. 傍聴後、アンケートにご協力いただいた方



さのぽカード

さのぽアプリ



※試験的に開始していますので、今後、運用が変更となる場合があります。
※傍聴の際は、さのぽカードまたはさのぽアプリをご持参の上、議会事務局までお越しください。
議会事務局で受付されずに傍聴された場合、さのぽは付与いたしません。
※本会議最終日につきましては、進行次第で前日に前倒しとなる場合がございますので、開催については、ホームページでご確認ください。

市議会を傍聴しませんか

◆12月定例会の日程表◆

12月 1 日(火)	本会議
12月 3 日(木)	総務産業委員会
12月 4 日(金)	厚生文教委員会
12月 7 日(月)	関空りんくうまちづくり特別委員会
12月 8 日(火)	りんくう総合医療センター対策委員会
12月10日(木)	行財政委員会
12月17日(木)	本会議
12月18日(金)	本会議
12月21日(月)	本会議

※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。
※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



第8回みらい泉佐野こども議会を開催しました。

市議会だより編集委員

委員長	副委員長	委員			
向江 英雄	南 大地	中村 慎作	高橋 圭子	佐野 剛	松村 正秀

●お問い合わせ　泉佐野市議会事務局
●発行／泉佐野市議会　〒598−8550　泉佐野市市場東1丁目1−1
●編集／市議会だより編集委員会　電話:072−429−9358　FAX:072−462−5918　Eメール　gikai@city.izumisano.lg.jp